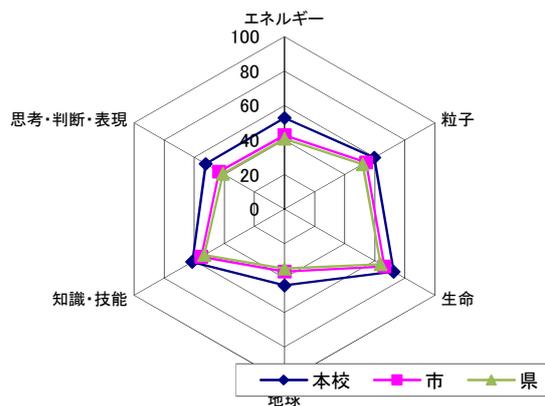


# 宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【理科】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	エネルギー	52.9	42.8	40.8
	粒子	59.6	54.2	52.0
	生命	72.6	66.4	63.8
	地球	44.2	36.2	34.5
観点	知識・技能	61.3	55.2	53.3
	思考・判断・表現	52.3	43.5	41.0



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○平均正答率は52.9%で県平均より12.1ポイント上回った。 ●ばねに加えた力の大きさを問う問題では正答率が23.5%と低調であった。比例等の関係を用いて力の大きさを求めることに課題がみられる。	基本的な内容については県平均を大きく上回っていることからおおむね定着しているが、比例等の関係を用いるなどの計算問題は繰り返し練習を行い、定着を図っていく。
粒子	○平均正答率は59.6%で県平均より7.6ポイント上回った。 ●再結晶によって取り出せる結晶の質量とその方法を答える問題では、正答率が34.8%と低調であった。記述式の問題であったため、思考し表現することへの課題がみられる。	基本的な内容についてはおおむね定着している。実験の考察を書くことに重きを置き、思考力及び表現力の定着を図る。
生命	○平均正答率は72.6%で県平均より8.8ポイント上回った。 ●いちじょうの花のつくりについての理解を問う問題では正答率が50%を下回っており、知識の定着に課題がみられる。	基本的な内容についてはおおむね定着している。スケッチの仕方などに抜けがあるため、観察の際にスケッチを取り入れていく。
地球	○平均正答率は44.2%で県平均より9.7ポイント上回った。 ●震源からの距離とそれを求める方法を問う問題では正答率が12.8%であった。	基本的な内容については繰り返し練習を行い、定着を図る。また、地震にかかわる計算問題についてはその求め方を整理し、求められるようにする。